

日野市の健康診査を受診された方へ

健診お疲れさまでした。健診の結果はいかがでしたか。
健診結果については、医師とご確認の上、健康管理にお役立てください。
医師から治療を勧められた方は、早めに適切な治療をお受けください。



結果通知票の説明

※ コード

既往歴	01 高血圧	02 低血圧	03 不整脈	04 高脂質血症	05 高尿酸血症		
	06 腎不全以外の腎疾患		07 糖尿病	08 肝臓病	09 胃・十二指腸潰瘍	10 うつ	
	11 骨粗鬆症		99 その他				
自覚症状	01 胸部圧迫感	02 心悸亢進・動悸	03 息切れ	04 不眠	05 肩こり・腰痛		
	06 手足のしびれ	07 眩暈(めまい)・立眩み		08 頭痛・耳鳴り			
	09 いつも調子が悪い	10 腹が張っている	11 下痢	12 便秘	13 下痢と便秘		
	14 痔の傾向	99 その他					
他覚症状	01 眼瞼結膜蒼白(+)	02 浮腫：眼瞼(+)	03 肝臓肥大(+)	04 浮腫：下腿(+)			
	05 心音不純	06 不整脈あり	99 その他				

◆ 基本検査項目

「保健指導判定値」とは
「保健指導」の対象となる値。この「保健指導」とは、40～74歳の方を対象に実施する「特定健診」の結果から、生活習慣病発症のリスクが高いと判定された方に対し行うものです。
※いきいき健診対象の方は、保健指導の対象となりません。

「受診勧奨値」とは
保健指導判定値より値が悪く、重症化を防止するために医療機関を受診する必要性を検討する値。

	検査項目	検査の目的や分かること	保健指導判定値	受診勧奨判定値
身体測定	B M I	適正体重であるかを以下の式で算出します。 $BMI = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)}^2}$ BMIが25以上で腹囲が基準値以上の場合は、内臓脂肪の蓄積の疑いがあります。	25以上	
	腹 囲 (cm)	内臓脂肪の量を調べます。	男性：85以上	女性：90以上
血 圧	収縮期(最大) 血圧 (mmHg)	血管の老化・動脈硬化を調べます。高血圧が続くと動脈硬化を招きやすく、心筋梗塞や脳血管疾患などを引き起こす要因となります。	130以上	140以上
	拡張期(最小) 血圧 (mmHg)		85以上	90以上
血 中 脂 質	中性脂肪 (mg/dℓ)	動脈硬化の進み具合の指標となります。中性脂肪はHDLコレステロールの減少とLDLコレステロールの増加を促し、動脈硬化を促進します。異常値の場合は、虚血性心疾患や脳血管疾患の発症の可能性もあります。	150以上	300以上
	HDLコレステロール (mg/dℓ)		39以下	34以下
	LDLコレステロール (mg/dℓ)		120以上	140以上
肝 機 能	A S T (GOT) (U/ℓ)	臓器や組織に障害が発生すると血液中に増加します。ASTは肝臓や心臓に、ALTは特に肝臓に、γ-GTは飲酒による肝臓の障害に反応します。数値が高いほど、肝炎・肝硬変・脂肪肝などの疑いが高くなります。	31以上	51以上
	A L T (GPT) (U/ℓ)		31以上	51以上
	γ-GT (γ-GTP) (IU/ℓ)		51以上	101以上
糖 尿 病	血糖値 (mg/dℓ)	血液中に余ったブドウ糖の量から糖の代謝異常を調べます。数値が高いほど糖尿病の疑いが高くなります。	100以上(空腹時)	126以上(空腹時)
	ヘモグロビンA1c (%) (NGSP値)		5.6以上	6.5以上
尿 検 査	尿 糖	尿中にブドウ糖が出ているかを調べ、糖尿病の危険をチェックします。	基準値	— (陰性)
	尿 蛋 白	臓器や組織に障害がある場合に発生します。陽性の場合、腎臓の障害の疑いがあります。	基準値	— (陰性)

◆ 詳細な健診 (40～64歳の方は、一定の判断基準に該当し、検査の必要があると医師が認めた場合に限り実施)

	検査項目	検査の目的や分かること	基準値
貧血	ヘマトクリット (%)	ヘマトクリットは血液全体に占める赤血球の割合(容積比率)、血色素は赤血球の中に存在するたんぱく質、赤血球は酸素を運搬する血球成分を表します。これらの数値が低いと貧血等が疑われます。	男性：38.5～48.9 女性：35.5～43.9
	血色素量(g/dℓ) (ヘモグロビン量)		男性：13.1～16.6 女性：12.1～14.6
	赤血球数(万/mm ³)		男性：400～539 女性：360～489
	心電図	不整脈や心肥大、狭心症、心筋梗塞などの発見の手がかりになります。	

◆ 追加健診項目 (クレアチニン、尿酸、尿潜血以外は65歳以上の方に実施。一部例外あり)

	検査項目	検査の目的や分かること	基準値
腎機能	クレアチニン(mg/dℓ)	腎臓の排泄機能を調べます。数値が高い場合、腎不全、慢性腎炎、うっ血性心不全などが疑われます。	男性：1.0以下 女性：0.7以下
痛風	尿酸(mg/dℓ)	腎臓に障害があったり、激しい運動やストレスにより尿酸値が上がります。数値が高い場合に高尿酸血症、高血圧、腎炎などの原因となります。	2.1～7.0
	胸部直接X線	胸部の構造や変化を調べ、結核をはじめとする肺の異常がないかを判断します。	
	尿潜血	尿中に血液が混入しているか調べ、腎臓、尿管、膀胱、尿道などの異常を発見します。	－(陰性)
血液検査	白血球数(/mm ³)	血液に含まれる白血球の数を測定し、体内の炎症や感染症を発見するものです。	3200～8500
	血小板数(万/mm ³)	血液に含まれる血小板の数を測定し、出血を止める機能を判定するものです。	13.0～34.9

○基準値は「厚生労働省健康局『標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)』平成25年4月」および日本人間ドッグ学会作成の「人間ドッグ健診成績判定及び事後指導に関するガイドライン」を基にしています。

◆ 大腸がん検診

結果の説明は、この用紙と一緒にお渡しした「日野市大腸がん検診 結果に関するお知らせ」(白黒2つ折り)をお読みください。

◆ 特定保健指導対象者の方へ (40～74歳で一定の基準に該当する方のみ対象)

- 特定健診の結果、生活習慣病のリスクが高く、また生活習慣の改善で予防が期待できる方に特定保健指導を行います。
- 対象者には、概ね健診の2か月後、健康課が委託している事業者から、案内通知や電話があります。
- 保健師、管理栄養士と、普段の生活習慣を一緒に振り返り、ご自身の健康づくりに活かしてください。



※特定保健指導対象者については、保健指導委託業者へ指導上必要な情報を提供します。取り扱いや管理は、個人情報保護の観点から適切に対応を行います。